

輸出事業計画

※申請者名：青森県農村工業農業協同組合連合会
(JAアオレン) 品目：りんごジュース等

1. 輸出における現状と課題

○現 状

本会は、りんご生産量が日本一の青森県において、国内最大級のりんご加工量、販売量を誇る。近年、国内他企業との競合が激しくなっており、国内販売価格も低迷している。このような中、新たな需要が見込まれる海外市場をターゲットとし、平成23年より輸出の取組みを展開。現地商談会や県主催の海外バイヤー招聘事業への参加などを積極的に行い、販路の拡大と、主要輸出先国のニーズ把握に努めている。

●課 題

台湾・香港・中国

【生産・加工】

・巣ごもり需要の拡大や、酸化防止剤[ビタミンC]無添加でも褐変しない本会独自の「密閉搾り製品」への引合いの高まりから、現行搾汁設備の生産処理能力(生産量)では、需要に対応できない。

【流通】

・輸出時必要となる輸出先国言語別の食品表示(以下「輸出先国向けバックラベル」と記載)の貼付けが、出荷元(国内輸出商社)で大きな作業負担となっており、本会での貼付けを要望する問い合わせが増加。新規問い合わせの際も輸出先国向けバックラベル貼付け対応を求められ、その可否が商談成立の大きなポイントとなっている。

【販売】

・りんごジュース需要の高まりから、新規で日本国内他産地の企業が進出しており、競争が激化している。

マレーシア

【生産・加工】

・輸出にあたりハラール認証が必要な事が分かり、令和4年3月に日本国内の認証団体でハラール認証を取得したものの、マレーシアで共通認証として通用するか懸念される。

【販売】

・マレーシアでの取組経験が少ないため、新規販売ルートを開拓する必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

●取 組

台湾・香港・中国

【生産・加工】

・新たに、生産処理能力(量・スピード)の高い搾汁機を導入する。それにより搾汁繁忙期に原材料換算で1,100トン以上、処理能力(生産量)が上がり、増加する需要に対応可能となる。また適宜搾汁が行われ、原料集荷から搾汁までの時間が短縮されることで、品質の向上にもつながる。

【流通】

・“輸出先国向けバックラベルの貼付け”については、引き続き対応可能な分は国内輸出商社にて貼付け作業を維持してもらい、増加分に関しては本会若しくは国内輸出商社と連携する外部委託先にて、対応する。

【販売】

・海外での展示・商談会へ積極的に参加し、本会製品の製法・品質の優位性を訴求する。
・ハラール圏に商流を持つ国内商社と連携し、新規開拓に努める。

マレーシア

【生産・加工】

・認証機関の指導の下、輸出先国単位でのハラール共通認証確認対応を行う。

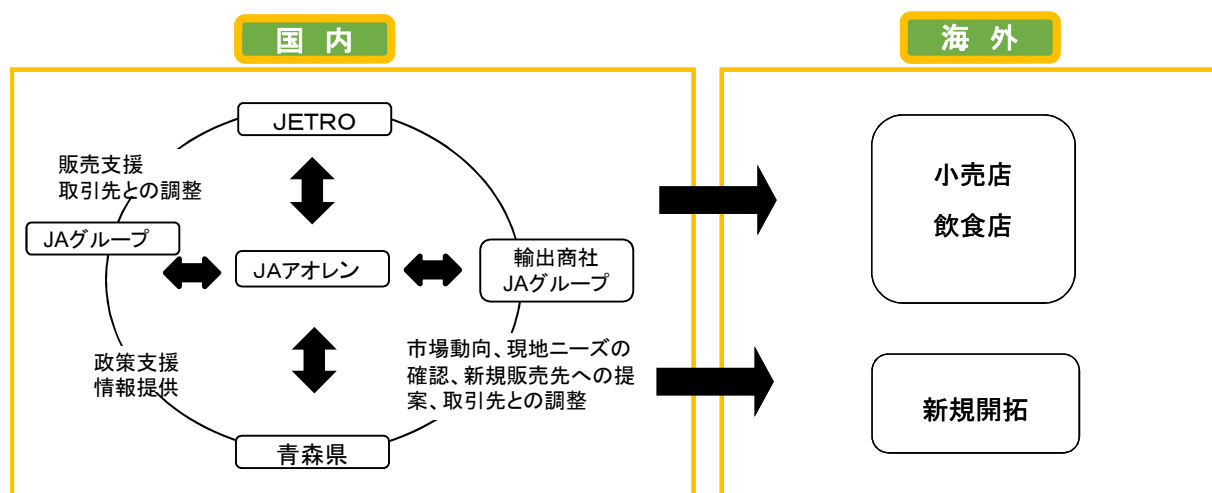
【販売】

・現行取引先と関係があるハラール認証機関と連携し、ハラール圏に商流を持っている国内商社の販売ルートを活用して販売拡大を図る。

輸出事業計画

※申請者名：青森県農村工業農業協同組合連合会
(JAアオレン) 品目：りんごジュース等

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	【現状】（令和2年度）	【目標】（令和8年度）
輸出額（千円）	297,475	397,475
輸出量（t）	1,195	1,554
輸出先国	台湾、香港、中国、アメリカ、シンガポール、ベトナム、オーストラリア、モンゴル、フィリピン、タイ、カナダ	台湾、香港、中国、マレーシア、アメリカ、シンガポール、ベトナム、オーストラリア、モンゴル、フィリピン、タイ、カナダ、インドネシア、UAE、カンボジア、EU